

2018年は子ども支援者の **価値**・知識・技術が大きく問われました！

## 1 倉敷市真備町における西日本豪雨災害への対応

0 人命救助  
2018.7.6～7.9

1 被災家具などの搬出  
2018.7.9～7.16

2 預かり保育  
2018.7.21～8.25

3 今後の対応  
経済的再建・心のケア

### 1. 被災家具などの搬出 2018.7.9 - 7.16 のべ59名（教員41名、学生18名）



【被害の状況】 停電した信号



自衛隊の支援



被災者住宅を訪ね【信頼関係を構築】し【ニーズの把握】、【支援計画】



【実践活動】 ボランティア活動



学生によるボランティア活動



教員ボランティア



### 2. 倉敷市立岡田幼稚園における預かり保育ボランティア 2018.7.21 - 8.25

#### 活動状況

2018.7.20	16:00	倉敷市より預かり保育ボランティア依頼
2018.7.20	20:00	150名支援体制完了 (医療保育科3年次生ほぼ全員参加表明)
2018.7.21	7:00	倉敷駅集合岡田幼稚園へ
2018.8.4		アートワークショップ企画実践
2018.8.25	16:00	預かり保育ボランティア終了



預かり保育ボランティア活動



アートワークショップ



ご飯とお茶と笑顔が元気の源です。(反省会)

# なぜ今！日本は幼児教育・保育に本気なのか？

## 2 子ども子育てに関する政策と背景

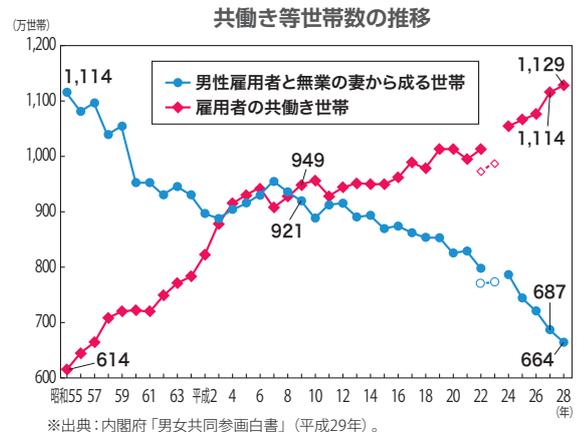
### 1. 量的な側面

#### 労働力人口の減少による**保育ニーズの拡大**

日本は2011年から人口減少社会に入っています。その働き手を確保するため、働く女性は1985年から2016年の間に983万人増加しています。また、共働き世帯と専業主婦世帯の比率は、1980年には1:2だったのが、2016年には2:1に逆転しました。

現在、0～2歳の保育所利用児は、2011年の31.0%から2017年には45.7%に増加し、今後もこの傾向は続くと言われています。

以上から少子化にも関わらず、**保育のニーズは急増しています。**



### 2. 質的な側面

#### 0歳～5歳までの教育の必要性の認識、**非認知能力の重要性**

乳幼児期の教育・保育が、その人の一生を左右することがノーベル経済学賞を受賞したJ・J・ヘックマンや、OECDの調査などにより実証されつつあります。これらのことから、幼児教育・保育（特に非認知能力）の重要性が注目されています。



認知能力

- ・知識及び技能の基礎（気づくこと）
- ・思考力・判断力・表現力等の基礎（試みること）

非認知能力

- ・学びに向かう力・人間性等（頑張ること）

### 3. 幼稚園教育要領・保育所保育指針の改訂（定）

- 1) 主体的・対話的で深い学びと大学入試改革  
要領・指針の改訂（定）が、大学入試改革までつながっています。
- 2) 幼児教育の無償化・高等教育の無償化  
幼児教育の重要性から、幼児教育の無償化が進められています。
- 3) 保育士の処遇改善（4年間で月額72,000円アップ！）  
保育者の量的拡充と、保育の質の向上のため、処遇改善が進んでいます。
- 4) 働き方改革  
女性が安心して働ける社会も大切です。

今後の学習指導要領改訂スケジュール

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
幼稚園	H30年度～全面実施				
小学校			H32年度～全面実施		
中学校				H33年度～全面実施	
高等学校					H34年度～年次進行で実施

**\* 幼児教育・保育の質の向上に貢献しています \***

医療保育科  
子ども医療福祉学科  
の活動

- ① 日本保育学会 第70回川崎学園大会…2017年5月20日・21日 参加人数／4,077人
- ② 全国保育士養成セミナー（大学等546校）……………2020年 川崎学園にて開催予定